



営農ウィークリーNEWS

首都圏で「京おくら」をPR販売！

経済部営農販売課では、6月20日、21日の2日間、東京都渋谷区にある新宿高島屋地下1階の生鮮野菜売場で、旬を迎える「京おくら」のPR販売を行いました。

今回、首都圏において、夏季特産品「京おくら」の新たな販売と需要を開拓し、販売拡大を図ることを目的に開かれました。

同地下1階にある生鮮野菜売場では、公益財団法人京のふるさと産品協会主催による「夏の京野菜フェア」も開催されており、京都府産の京野菜を買い求める来店者で賑わいました。



京野菜を購入した来店者は、「京野菜が欲しくなったらここに来ます。今日は、フェアなので京野菜の種類が多くあり、とてもうれしい。」と話されていました。

また、「京おくら」は、「京都で栽培されているの？珍しい。とても新鮮でおいしそう」などと話され購入されておられました。お店で準備された、お買



得の2袋トレー入りが、とても人気がありました。

当日は、営農販売課の職員が、「京おくら」の栽培方法から産地の情報や食べ方などの提案までを紹介しながら販売しました。今後、気温上昇とともに出荷量の増加に合わせて、各種PR販売イベントを計画しております。

—TAC information—

第6回向島たんぼラグビー開催！



向島支店管内にある水田で、6月22日、京都向島たんぼラグビー実行委員会の主催による「第6回たんぼラグビー-in 京都・向島」が開かれました。同イベントは、豊かで広大な農地が広がる京都市伏見区向島地域にある国内初の干拓事業が行われた巨椋池内の水田で行われました。性別・世代を超えた仲間がたんぼラグビーをプレーすることを通じて絆を深め、地域の歴史や自然の恵みを実感してもらうことを目的に開かれました。当日は、30チーム約400人が参加し、プレーを楽しめました。



ゼスト御池河原町広場にて 「京おくら」「京都茄子」をPR販売！



経済部営農販売課では、6月18日、京都市営地下鉄京都市役所前駅地下街ゼスト御池河原町広場で旬を迎えている「京都茄子」「京おくら」のPR販売を行いました。

今回、管内の特産物を販売促進会の開催を通じて、生産者の想い、地域の魅力を情報発信し、消費者に伝えることと、新たな販売と需要を開拓し、管内特産物の販売拡大を図ることと食品フードロス削減を目指して、開催しました。

当日は、夏季の主力農産物である「京都茄子」「京おくら」を営農販売課の職員ら5人が、地域の魅力や栽培方法から食べ方の提案まで紹介を行いながら販売しました。



また、2022年より、京都市とミツカン株式会社とJAの連携による食品ロス削減に向け、農産物を食



酢や鍋汁を利用した食べ方提案を行っており、京都市環境政策局資源循環推進課による食品フードロスやごみ削減

のPR看板なども設置されました。

更に、6月の食育月間に合わせ、京都市保健福祉局健康長寿のまちづくり推進課も加わり食育のPRや野菜ネットづくりなども行われ、イベントが盛大に開催されました。販売会場では、消費量に合わせ購入ができるよう「京都茄子」「京おくら」ともに1本から購入できるように工夫され、バラ売りされ、購入者が自ら選ぶことができ、必要な分だけ購入できることでも人気を集めました。

今後、気温上昇とともに出荷量の増加に合わせて、各種PR販売イベントを計画しております。

